

令和5年（2023）度第46期

富士見市民大学

講座案内



市民による市民のための大学 NPO法人富士見市民大学

〒354-0033 埼玉県富士見市羽沢3丁目23-10 鶴瀬公民館内

Tel:049-251-1140 Fax:049-251-1156

<http://www.fujimi-shimindaigaku.org/>



第46期 市民大学開講式と記念講演のご案内

開 講 式：令和5年6月10日(土) 午前10時～11時30分
記念講演(公開講演)：令和5年6月10日(土) 午後1時30分～3時30分
記念講演のみの参加者は、この時間にお越しください
会 場：鶴瀬コミュニティセンター・ホール（鶴瀬公民館）
定 員：250名（申込順）
※富士見市民大学受講生・正会員の方も申し込みが必要です。

参加費：無料

演 題：「教育者・偉大なるプロデューサーとしての岡倉天心」

岡倉天心は、東京美術学校長であり、米国ボストン美術館東洋部長でもありました。また「日本美術院」の創設者であり、『日本の目覚め』『東洋の理想』『茶の湯』の著者、「アジアは一つ」を提唱する、明治を代表する先駆的思想家でした。

横山大観・橋本雅邦・菱田春草など偉大なる日本画家を育て、彼らの画業を欧米に知らしめ、若き彼らの作品を欧米人に、法外な値段で売りつけるという、<凄腕のプロデューサー>でもあったのです。

講 師：大東文化大学教授・博士（学術）

宮 瀧 交 二 氏（みやたき こうじ）



昭和36年（1961）東京都生まれ。
立教大学、大学院博士課程修了後、
埼玉県立博物館主任学芸員を経て、現職。

近年刊行の著書に、『新羅郡の時代』（雄山閣）
『岡倉天心 思想と行動』（吉川光文堂）『元号と日本人』（プレジデント社）など。NHK番組「ブラタモリ」
「チョコちゃんに叱られる」では、埼玉県の歴史民俗の解説者として、すでにお馴染みの先生である。

申込み/問合せ：令和5年5月2日（火）から申込受付開始
事務局（鶴瀬公民館内）に直接または電話で
平日9時～17時をお願いします

☎049-251-1140 Fax:049-251-1156

目 次

	page
◎第46期・富士見市民大学開講式と記念講演のご案内	1
◎記念講演「教育者・偉大なるプロデューサーとしての岡倉天心」	2
◎目 次	3
1. 文学講座	4
2. 文章実作教室	5
3. 国際社会学	6
4. 社会保障学	7
5. 富士見の歴史	8
6. 行政と市民生活	9
7. 親子で自然観察	10
8. 市民サロン塾	11
◎公開講演会のご案内	12
◎ボランティア・サポーター／理事の募集	14
◎会員（正会員／賛助会員）入会の申込について	15
◎市民大学受講申し込み方法	16



小林一茶に学ぶ — 俳句の作り方、味わい方 —

小林一茶は五十代の後半に、六歳のころを思い出して「我と来て遊べや親のない雀」と詠んだ。過去を取り戻すことはできないが、このように日常を詩歌にすることで、永遠の世界を創り出すことができる。本講座は親しみやすさで定評がある一茶の句を教材にして、受講者全員が自分の生涯を俳句に詠むことをめざす実践的な試みである。（講師記）

講師：東洋大学名誉教授 博士（文学） 俳人
谷地 快一（たにち よしかず）氏

プロフィール：1948年北海道生まれ。俳号海紅。俳人協会会員、日本エッセイスト・クラブ会員。著書に『与謝蕪村の俳景一太祇を軸として』（新典社）、共編著に『芭蕉・蕪村発句総索引』（角川書店）、江戸人物読本『与謝蕪村』（ペリかん社）、『俳句教養講座』全3巻（角川学芸出版）など。

芭蕉会議（<http://www.basho.jp>）を主宰、句集に『九十九句』。



教室：みずほ台コミュニティセンター 集会室

日程：9月3日～10月1日まで各日曜日（5回） 午前10時～12時（下表参照）

回	日時・会場	学習項目	学習内容
第一講	9月3日(日) 午前10時～12時 みずほ台コミセン	季節と人生について	一茶の幼少期を紹介しつつ、俳句に季節のことばが求められる理由を学びます。
第二講	9月10日(日) 午前10時～12時 みずほ台コミセン	青年期の名句をまねる	家庭の事情で郷里（長野県上水内郡信濃町柏原）を出て江戸に暮らす。そのころの作に学んで、俳句作りに挑戦します。
第三講	9月17日(日) 午前10時～12時 みずほ台コミセン	壮年期の名句をまねる	江戸の葛飾派に学んで、俳句で生きるための九州・四国や上方行脚。そのころの作に学んで、俳句作りに挑戦します。
第四講	9月24日(日) 午前10時～12時 みずほ台コミセン	中年期の名句をまねる	江戸で専業俳人となるが、貧窮の果てに郷里の父を失くして帰郷。そのころの作に学んで、俳句作りに挑戦します。
第五講	10月1日(日) 午前10時～12時 みずほ台コミセン	老年期の名句をまねる	郷里で五十歳を過ぎて結婚するが、たび重なる不運の果てに後妻に看とられて没。そのころの作に学んで、まとめとします。

文章を「作品集」「自分史」に製本して残そう

「女性コラムニストの先駆け」と呼ばれる文筆家に中野翠氏があります。さいたま市の出身であると同時に、私たちと同世代のひとです。今回の文章教室では、中野翠氏の著書『コラムニストになりたかった』（新潮文庫）を精読することで、文章作成の基本（題材・構成・叙述・用語）を学びとります。また、同書は1969年から2022年にわたる「流行と文化の年代記」として書かれています。この年代記に基づき、私たちが生きてきた半世紀の流行と文化の変遷を振り返ってみましょう。

さらに今回の講座には、製本・出版までのプロセスを具体的に学ぶ授業内容が組み込まれています。これまで書いてきた自分の作品（随筆・随想・生活記録）を文集にまとめて製本したい、サークルで「同人誌」を発行したい、生きた証を「自分史」として家族に残したい—こうした要望に応えることが目的です。

講師：永杉徹夫（ながすぎ てつお）氏

元毎日新聞編集委員／エッセイスト／専門学校・短期大学講師／『文芸埼玉』編集委員／文芸誌『KODAMA』文学会主宰。現在も、県立「さいたま文学館」を中心にエッセイ指導をしている。富士見市民大学では、2012年から文章教室を担当し、これまでに修了生からは、サークル活動の指導者、同人誌の主宰者などが多数誕生している。著書にエッセイ集『童心は老いず—詩人の風貌』『心に童謡を』『あまりにも花が』などがある。

教室：ピアザふじみ 多目的ホール1（東武東上線ふじみ野駅・東口徒歩3分）

授業時間：午前10時～12時

回	月 日	講義のポイント	実作プロセス
1	6月17日（土）	作者（中野翠）が扱った題材	課題発表
2	6月24日（土）	視点・構成・叙述・用語	課題原稿を提出
3	7月1日（土）	1970年代・1980年代・アンアン調	添削原稿が返却・推敲
4	7月8日（土）	2000年代・2010年代以降	再提出
5	7月15日（土）	製本（体裁・部数・費用・寄稿・献本）	添削講評と合評

副教材：新潮文庫『コラムニストになりたかった』（590円税別）を副教材として使います。各自で購入して、授業にご持参ください。

東アジア各国から学び、日本の未来・共生を考える

昨年度は文化人類学の視点から東アジア、アフリカの民族の異文化社会を学びました。フィールドワークの手法で、まずは理解を深め交流する大切さ、外国から来た日本在住の人々と共生を考える第1歩になりました。

今期は受講生の要望に沿って、日本の近隣、東アジアの国々の現状から未来・共生を考えていきます。

ロシアがウクライナに侵攻して1年が経過しました。いまだ平和の兆しがみえません。その報道を通じて日本も戦争に巻き込まれる、軍備の増強は必要、仕方がないという国民が増えているそうです。

改めて日本のお隣、東アジアの国々との長い交流の歴史や経済発展が目覚ましい現状などを知ることから始めませんか。未来を考える機会になると思います。

講師の田中靖宏先生はかつて富士見市民大学に登壇され、現在も国際的に広く活動されています。

回	日時・会場	テーマ	講師
1	10月14日(土) 午後1時30分～3時30分 鶴瀬公民館第3集会室	ベトナムの経済成長、 民主化を考える	ジャーナリスト 日本AALA理事 鈴木勝比古氏
2	10月28日(土) 午後1時30分～3時30分 鶴瀬公民館第3集会室	ミャンマー、ラオスなどの 少数民族とその対応について	同上
3	11月11日(土) 午後1時30分～3時30分 鶴瀬公民館第3集会室	米中対立と東アジアと日本	日本AALA国際部長 田中靖宏氏
4	11月18日(土) 午後1時30分～3時30分 鶴瀬公民館第3集会室	アジアによみがえる 共存・協力の思想	同上

なお、都合によりテーマ、講師の変更の可能性があります。

社会保障の成り立ちと富士見市の現状について

富士見市では、市民のみなさんにまちづくりに関する情報や学習の機会を提供するため、市職員による「富士見市協働によるまちづくり講座」（以下出前講座と称する）を開催しています。この出前講座は8分野88講座があります。

近い将来「人生100年時代」と言われるような超長寿社会を迎えます。今年度の「社会保障学」講座では「富士見市の高齢者を支える福祉政策」の中で「私たちが生きるための指針・手助け」をしているテーマを、出前講座の「健康・福祉」分野から「国民年金」、「後期高齢者医療制度」「介護保険」「後見人制度」について、富士見市の社会保障がどのようになっているかの情報提供をします。

回	日時・会場	テーマ	内容	講師
1	6月17日（土） 午前10時～12時 鶴瀬公民館 第3集会室	私たちの国民年金	国民年金制度の概要。 年金受給手続や市で受けることができる事務や年金事務所で行う業務など	川越年金 事務所職員
2	6月24日（土） 午前10時～12時 鶴瀬公民館 第3集会室	後期高齢者医療制度について	後期高齢者医療制度について、特に問合せや質問が多くあった項目を中心に	保険年金課 職員
3	7月8日（土） 午前10時～12時 鶴瀬公民館 第3集会室	介護保険ってなんですか	介護が必要になった時でも住みなれた地域で安心して過ごせるようにするため介護保険の概要	高齢者福祉課 職員
4	7月15日（土） 午前10時～12時 鶴瀬公民館 第3集会室	知っておこう！ 成年後見制度	認知症高齢者や障がいにより判断力が不十分になった方が安心して暮らせる支援をする成年後見制度について	同上

なお、都合によりテーマ、講師が変更する可能性もあります。

富士見市が歩んだ50年

—自分史の半世紀を顧みるために—

富士見市は、今日112,000人の人口を擁するベッドタウンです。昭和31(1956)年の三村合併により11,000人の「富士見村」が誕生しました。その8年後は「富士見町」へ、さらに8年後には「富士見市」へと、8年のサイクルで成長してきました。

今回の講座は、豊富なデータと記録映像とで、<ダイナミックな変貌の50年>を辿ります。富士見市の歴史は、まさに、生活基盤をこの街においた私たちの「自分史」そのものです。

日 程：<日時と会場>にご注意ください：第1回は公開講演として午後1時30分開演、
第2回・4回は土曜日午前10時開始。第3回のみ日曜日10時開始になります。

会 場： 鶴瀬公民館・第3集会室

講 師： 大東文化大学・文学部歴史文化学科／教授 宮瀧 交二 氏
難波田城資料館／館長・学芸員 早坂 廣人 氏
難波田城資料館／文化財資料整理専門員 田ノ上和宏 氏

シラバス：

回	日時・会場	テーマ	内容	講師
第1回	11月4日(土) 鶴瀬コミュニティ センターホール 午後1時30分～ 3時30分	東上沿線の駅と都 市化の特徴	100年のスパンで、池袋からふじ み野市まで東上線沿線の小都市の 成り立ちと特徴から、富士見市の個 性を確かめる。	宮瀧交二氏
第2回	11月11日(土) 鶴瀬公民館 午前10時～12時	年表と写真で振り 返る富士見市の50 年	『新版 富士見のあゆみ』や『写真 でたどる富士見市の50年』展示資 料を使いながら、50年間の主要な できごとを確かめる。	早坂廣人氏
第3回	11月19日(日) 鶴瀬公民館 午前10時～12時	統計で読む富士見 市の都市化と変貌	富士見市の都市化と人口の増加、少 子高齢化の様相、産業の変化などを 統計表から読み取る。	早坂廣人氏
第4回	11月25日(土) 鶴瀬公民館 午前10時～12時	地域の学びと文化 の継承・創造	地域住民と新住民による学習活動、 文化の継承と創造とを、記録映像を 用いながら振り返る。	田ノ上 和宏氏

市民学コース 行政と市民生活講座

定員50人

富士見市の高齢者福祉政策と
人生100年時代の必須知識
～ 老いを迎え、どう生き、どう逝くか ～

医療技術の進歩や医療制度の充実などにより、いまや女性の2人に1人、男性の3.5人に1人が90歳以上を迎え、また現在、日本人の平均寿命は男性80.98歳、女性87.14歳ですが、2050年には女性の平均寿命は90歳を超え、現在35歳の人は、50%の確率で99歳まで生きるとまで言われています。

このように、「人生80年時代」から「人生100年時代」へと超長寿社会を迎えます。こういった時代背景のもと46期「行政と市民生活」講座は「老いを迎え、どう生き、どう逝くか」をテーマに「富士見市の高齢者福祉政策」と高齢者の日常生活自立支援事業、終活とエンディングノート、遺言と相続等の人生100年時代の必須知識を取り上げる事としました。

回	日時・会場	内容	講師
1	9月30日(土) 午前10時～12時 鶴瀬公民館	市長が語る富士見市の街づくり 令和5年度市政の重点施策と 高齢者福祉政策の基本理念と方針	富士見市長 星野光弘氏
2	10月7日(土) 午前10時～12時 鶴瀬公民館	富士見市の高齢者福祉政策 第8期富士見市高齢者保健福祉計画 老人福祉計画、介護予防、相談体制、家族支援体制	高齢者福祉課 職員
3	10月14日(土) 午前10時～12時 鶴瀬公民館	日常生活自立支援事業と成年後見制度 いつまでも自分らしく暮らしていくために	富士見市社会 福祉協議会 須藤紀子氏
4	10月28日(土) 午前10時～12時 鶴瀬公民館	終活とエンディングノート 自分らしい生をまっとうするため 必要な人生の棚卸しと死後事務への備え	全国地域 生活機構 尾川宏豪氏
5	11月4日(土) 午前10時～12時 鶴瀬公民館	遺言と相続 大切な財産を円滑に相続させるため どの様に準備するか	北坂戸法務事 務所司法書士 杉田裕介氏

注-1 第一回講座は市長の公務の都合により講師が変更されることもあります

注-2 尾川宏豪先生の略歴：一般社団法人 全国地域生活支援機構 理事。

1988年東洋信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社後、シンクタンク、AIサービス会社等にて勤務。2023年武蔵野大学大学院法学研究科博士後期課程在学中。

注-3 杉田裕介先生の略歴：平成20年度司法書士試験合格、

平成27年司法書士・行政書士事務所開業 埼玉司法書士会・埼玉行政書士会・

成年後見センター・リーガルサポート(公益社団法人)埼玉支部所属

※本講座の募集は、後日広報富士見で案内します。

市民学特別コース

定員 15 組

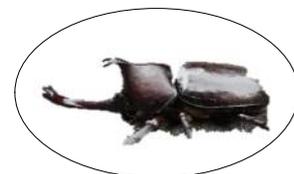
親子で学ぼう「竹とんぼづくり」と「縄文の森の観察」



私たちは、<のこ><かなづち><切り出し(ナイフ)>といった道具をつかうことが、たいへん<へた>になりました。お父さん・お母さんだけではありません。もう、おじいさん・おばあさんの子供のころから<へたくそ>でした。学歴が高くなるにつれて、道具がうまく使えないひとがおおくなりました。

今年の親子教室は、「竹とんぼづくり」と「縄文の森の観察」の2回にわたって実施します。学習目的は、材料の性質をしること、道具をじょうずに使えるようになることです。

「縄文の森の観察」では、ドングリのなる木、カブトムシやクワガタムシがたくさん集まる木を、よくおぼえておきましょう。



参加費：※参加費は、当日受付でお支払いください。

1. 竹とんぼづくり—200円(保険料100円(1家族)+材料費100円(1セット))
2. 縄文の森を観察しよう—保険料100円(竹とんぼづくりで払った人は不要です)

お願い：ナイフ・ノコギリなど道具は、教室にあるものを使います。

自分のうちから持ってこないでください。

レッスン名	日時と集合場所	学習のねらい	先生(指導員)
1. 竹とんぼを作ろう	8月19日(土) 鶴瀬公民館 いきいき活動室 午前10時	道具(のこ・切り出し・紙ヤスリ)が上手に使えるようになる	水子貝塚資料館 学芸員と 市民学芸員
2. 縄文の森を観察しよう	9月10日(日) 水子貝塚公園 学習広場 (現地集合・現地解散になります) 午前10時 雨天の場合は 学習室	縄文の森の木の名前や特徴を学ぶ。 カブトムシ・クワガタムシ・玉虫などの集まる木、ドングリのなる木などを5~7種類はおぼえよう。	同上

注) 水子貝塚公園は、みずほ台駅東口から徒歩でおよそ20分。

「ふれあい号」(バス便)がありますが、集合時間に間に合うのは、次の1本だけです。
みずほ台駅東口発 9:04 (停留所は「埼玉りそな銀行」のまえ)

市民講師によるサロン塾

「市民人材バンク推進員の会」と市民大学との共同企画

富士見市の市民人材バンクに登録されている方を中心に、市民を講師に迎えた「市民による講座」です。

5講座から希望する講座を選んで受講できます。

申込み時にどの会に出席を希望されるかを、希望番号に○印をつけてください。

会場は鶴瀬公民館いきいき活動室になります。



回	日時・会場	テーマ	概要	講師
1	10月2日(月) 午後1時30分 ～3時30分 鶴瀬公民館	大人の絵本朗読会	色々な絵本の紹介と楽しい朗読会を催します。 	絵本専門士 福島 祐美氏
2	10月23日(月) 午後1時30分 ～3時30分 鶴瀬公民館	体の中を 覗いてみよう	心臓と肺の仕組みとその働きについて分かりやすく講義します。	市民人材バンク登録者 薬剤師 山田 祥三氏
3	10月30日(月) 午後1時30分 ～3時30分 鶴瀬公民館	人生講話と写経	人生講話をお聴きし、写経をします。 筆ペン持参してください。 	富士見市来迎寺 住職 横山 亮英氏
4	11月6日(月) 午後1時30分 ～3時30分 鶴瀬公民館	俳句入門	形式にこだわらない自由な俳句を紹介します。 筆記用具持参ください。	市民人材バンク登録者 世羅 陽一郎氏
5	11月13日(月) 午後1時30分 ～3時30分 鶴瀬公民館	富士見市鶴瀬 近隣の史蹟散策	鶴瀬公民館周辺の史蹟をガイド付きで散策します。	市民人材バンク登録者 富士見市資料館友の会 ふるさと探訪部会



公開講演会のご案内



連続講座とは別に、それぞれに申込みが必要です。時期が近づきましたら、「広報富士見」・チラシ配布・ポスター掲示などでお知らせします。
最新の情報をご確認のうえ、お申込みください。

公開講演会・「富士見の歴史講座」基調講演

東上沿線の都市の形成—和光市駅から川越市駅まで
「自分史」の半世紀をかえりみるために

日 時：令和5年11月4日（土）午後1時30分～3時30分

場：鶴瀬コミュニティセンター ホール（鶴瀬公民館）

講 師：大東文化大学・歴史文化学科 教授・博士（学術）

教授 宮瀧 交二（みやたき こうじ）氏

参加費：無料

定 員：250名（申込順）

申込み：令和5年10月3日（火）から受付開始、
事務局（鶴瀬公民館内）に直接または電話で
※平日の9時～17時をお願いします



SDGs推進のトップがえがくSDGsの未来図

日 時：令和5年12月2日（土） 午後1時30分～3時30分

会 場：鶴瀬コミュニティセンター ホール（鶴瀬公民館）

参加費：無料

定 員：250名（申込順）

講 師：堤 晶子（つつみ あきこ）氏

社団法人 日本SDGs協会 代表理事
（東大阪市教育委員会教育委員）

申込み：令和5年11月2日（木）から受付開始
事務局（鶴瀬公民館内）に直接または電話で
※平日の9時～17時をお願いします。



100歳時代の「医療と健康保持の講演会」
長寿時代を生きる高齢者の「健康5つのケアと3つのエクササイズ」

日 時：令和6年2月3日（土） 午後1時30分～3時30分

会 場：鶴瀬コミュニティセンター ホール（鶴瀬公民館）

参加費：無料

定 員：250名（申込順）

講 師：ふじみ野整形外科内科骨粗鬆症スポーツクリニック院長

山口 智広（やまぐち ともひろ）氏

演 題：整形医療の最先端をいく若き医師が説く

「長寿時代の『高齢者健康5つの心がけと3つのエクササイズ』」

◎脚と腰はからだの「ささえ」と「かなめ」、
現代医療でここまで治療できる

◎健康維持の5つの心がけと、毎日、3つのレッスン

申込み：令和6年1月5日（金）から受付開始

事務局（鶴瀬公民館内）に直接または電話で

※平日の9時～17時をお願いします。

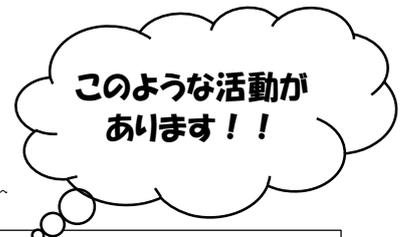




時間の取れる範囲で、一緒に活動しませんか？

人を健康にするのは「良い人間関係」であるという研究があります。

- ・家族、友人、コミュニティ等、周りとのつながりを持っている人はそうでない人よりも健康で幸せで長生きする
- ・身近な人たちとの関係の質が重要である
- ・良い人間関係は脳も守る



⇒ボランティアを通じて新たな人間関係を作りませんか？

- | | |
|---------------|-----------------------------------|
| 1. 講座の企画・運営… | 独自性・先駆性・話題性のある講座、講演会を企画します |
| 2. 講師選定と講座計画… | 受講生の声を聞きながら、講座プランを練り上げ、講師の先生を決めます |
| 3. 見学場所の下見… | ほかのスタッフや仲間と下見をして「見どころマップ」を作ります |
| 4. 講座資料の印刷… | 公民館の印刷機を使って講座資料を作成します |
| 5. イベント、授業準備… | 講座日には、受講生といっしょに会場設営、公開講演会の受付 etc. |

問合せ：富士見市民大学事務局（鶴瀬公民館内）TEL049-251-1140 平日 9時～17時

NPO法人富士見市民大学

会員（正会員／賛助会員）入会の申し込みについて

入会のご案内

会費を納めていただくことにより、どなたでも入会できます。入会された方には情報紙や公開講演、公開講座、交流会、通常総会のご案内など各種行事をお知らせいたします。

■ 会員の会費

正会員 2,000 円(年会費) 個人が対象です。

賛助会員 1,000 円(年会費/一口以上、何口でも可) 企業・団体及び個人が対象です。

※なお、会員が講座を受講されるときは、別途 300 円(保険その他経費)が必要です。

- 会員期間……1 年間(4 月 1 日～3 月 31 日)です。この期間が市民大学の事業年度ですので、期の途中からの入会でも、会員期間は「入会日～3 月 31 日」となります。

■ 正会員になると以下の特典があります

- ① 「会員証」の発行……ご自宅に郵送されます(発行に約 1 か月位かかります)。
- ② 市民大学受講生の運営費(保険料・通信費など)は 300 円になります。
- ③ 特別有料講座の優先予約と割引制度を利用できます。
- ④ 『まとめ集』(1 年間の全講座記録・受講生の感想文)や『富士見市民大学だより』その他の発行物が届きます。
- ⑤ 通常総会や臨時総会に出席し議決権を行使することができます。
- ⑥ 友好団体・行政との合同「企画懇談会」や「運営委員会」に参加するなど意見交換の場が得られます。同時に、自分の意見を事業計画に反映させる機会が生まれます。

■ お申し込み方法

- ・ 鶴瀬公民館「富士見市民大学事務局」へ…平日の 9 時～17 時に受付
〒354-0033 富士見市羽沢 3-23-10 Tel 049-251-1140 Fax 049-251-1156

■ お支払い方法

- ・ 鶴瀬公民館「富士見市民大学事務局」へご持参ください。

第46期富士見市民大学・受講申し込み方法

1. 受講申込方法と運営費（保険料・通信費その他）について：
市民大学の講座の受講は無料ですが、**運営費**として800円（正会員は300円）をいただいています。
「第46期富士見市民大学・受講申込書」に必要な事項をご記入のうえ、**運営費を添えて**各施設でお申し込みください。
◎正会員の入会手続きについては15ページをご覧ください。
2. 期間・場所：
2023年5月8日（月）から5月22日（月）までの平日午前9時から午後5時まで（各施設の休館日を除く）に、**各公民館／コミュニティセンター／交流センター／ピアザ☆ふじみ**の窓口でお申し込みください。
3. 問い合わせ
市民大学事務局
（市立鶴瀬公民館内） 電話番号：（049）251-1140
ファックス：（049）251-1156
※平日9時～17時をお願いします。

【受講にあたって】

- ・受講希望者が定員を超えてしまった場合、抽選となります。
- ・なるべく多くの方に1つでも講座を受けていただくために、申込書に受講希望講座を希望順にお書きください。
- ・サロン塾は、各回ごとに参加申込ができます。
- ・受講するのが1講座でも複数講座でも、運営費は変わりません。
- ・講座が延期・中止になった場合、受講される方にはハガキ又は電話でお知らせいたします。
- ・講座が中止になった場合や落選して講座が1つも受けられない場合、**運営費は返金**します。
- ・講座受講時は、マスクの着用・ご自宅での検温のご協力をお願い致します。



第46期・富士見市民大学・受講申込書（一般用）

■申し込み……「申込用紙」の太枠内に記入し、運営費（保険・通信費として一般の方800円、正会員の方300円）を添えてお申し込みください。

受付期間：5月8日（月）～5月22日（月）

【受講にあたって】

- ・受講希望者が定員を超えてしまった場合、抽選となります。
- ・受講するのが1講座でも複数講座でも、運営費は変わりません。
- ・講座が延期・中止になることがあります。その場合、受講される方にはハガキ又は電話でお知らせいたします。
- ・講座が中止になった場合や落選して講座が1つも受けられない場合には、運営費は鶴瀬公民館で返金します。

フリガナ 氏名	()	年齢 (代)	住所 〒354- 富士見市	TEL () - () - ()
			緊急連絡先 氏名 () 続柄 ()	TEL () - () - ()

受講講座 第1希望 () 第2希望 () 第3希望 ()
第4希望 () 第5希望 ()

※第2希望以降は、受講希望講座がない場合は記入不要です。

- ①文学講座 ②文章実作教室 ③国際社会学 ④社会保障学 ⑤富士見の歴史
⑥行政と市民生活 ⑦市民サロン塾(1, 2, 3, 4, 5) 市民サロン塾は希望回を○で囲んで下さい。

市民大学は何回目の受講ですか？ ①今回が初めて ②今回で () 回目

修了証の発行を希望しますか？ ①修了証を希望する ②修了証を希望しない

受講動機をお聞かせください（動機にちかい語句を選んで番号に○印をつけてください／該当語句の複数選択可）

- 1 生涯学習 2 仲間作り 3 国際社会の動向を知る 4 必要知識 5 自然と親しむ
6 自己啓発 7 まちづくり 8 市の歴史 9 安らぎ 10 自然環境保全 11 その他

※本申込書の記載内容は、富士見市民大学のみで使用し、ほかの目的に使用することはありません。

受付日時 月 日	受付場所 () 1 鶴瀬公民館 2 南畑公民館 3 水谷公民館 4 水谷東公民館 5 ふじみ野交流センター 6 鶴瀬西交流センター 7 針ヶ谷コミセン 8 みずほ台コミセン 9 ピアザ☆ふじみ
受付者名	

✂切り取り✂

2023年 月 日

様

領収証

金 800 円也

但し、第46期・富士見市民大学 運営費（通信費・保険代を含む）として NPO 法人富士見市民大学

受付印 印

第46期・富士見市民大学・受講申込書（正会員用）

■申し込み……「申込用紙」の太枠内に記入し、運営費（保険・通信費として一般の方800円、正会員の方300円）を添えてお申し込みください。

受付期間：5月8日（月）～5月22日（月）

【受講にあたって】

- ・受講希望者が定員を超えてしまった場合、抽選となります。
- ・受講するのが1講座でも複数講座でも、運営費は変わりません。
- ・講座が延期・中止になることがあります。その場合、受講される方にはハガキ又は電話でお知らせいたします。
- ・講座が中止になった場合や落選して講座が1つも受けられない場合には、運営費は鶴瀬公民館で返金します。

フリガナ 氏名	()	年齢 (代)	住所 〒354- 富士見市	TEL () - () - ()
			緊急連絡先 氏名 () 続柄 ()	TEL () - () - ()

受講講座 第1希望 () 第2希望 () 第3希望 ()
第4希望 () 第5希望 ()

※第2希望以降は、受講希望講座がない場合は記入不要です。

- ①文学講座 ②文章実作教室 ③国際社会学 ④社会保障学 ⑤富士見の歴史
⑥行政と市民生活 ⑦市民サロン塾(1, 2, 3, 4, 5) 市民サロン塾は希望回を○で囲んで下さい。

市民大学は何回目の受講ですか？ ①今回が初めて ②今回で () 回目

修了証の発行を希望しますか？ ①修了証を希望する ②修了証を希望しない

受講動機をお聞かせください（動機にちかい語句を選んで番号に○印をつけてください／該当語句の複数選択可）

- 1 生涯学習 2 仲間作り 3 国際社会の動向を知る 4 必要知識 5 自然と親しむ
6 自己啓発 7 まちづくり 8 市の歴史 9 安らぎ 10 自然環境保全 11 その他

※本申込書の記載内容は、富士見市民大学のみで使用し、ほかの目的に使用することはありません。

受付日時 月 日	受付場所 () 1 鶴瀬公民館 2 南畑公民館 3 水谷公民館 4 水谷東公民館 5 ふじみ野交流センター 6 鶴瀬西交流センター 7 針ヶ谷コミセン 8 みずほ台コミセン 9 ピアザ☆ふじみ
受付者名	

✂切り取り✂

2023年 月 日

様

領収証

金 300 円也

但し、第46期・富士見市民大学 運営費（通信費・保険代を含む）として NPO 法人富士見市民大学

受付印 印